



JAPAN ReWOOD の高知県ブースに、小池東京都知事も立ち寄ってくださいました。



… 目 次 …

四国四県木材協会等団体長会議	… 2
2023 年度予算概算要求	… 4
土佐材産地商談会、土佐材展 など	… 6
住宅着工・木材価格情報	… 14
関東だより	… 18
経営セミナー	… 21
高知大丸夏のイベント	… 22
JAS 製材の出前講座	… 23
都市木造「高知モデル」	… 24
もくもくエコランド 2022 のご案内	… 25
木材まつりのご案内	… 26

令和 4 年度四国四県木材協会等団体長会議

令和 4 年度四国四県木材協会等団体長会議が徳島県で開催されました。

日 時：令和 4 年 7 月 25 日（月） 13:00～17:00

場 所：徳島グランヴィリオホテル（徳島市万代町 3-5-1）

出席者：四国森林管理局 武田森林整備部長、資源活用課長 他

徳島県農林水産部 平井部長

（一社）全国木材連合会 本郷副会長

各県の木材担当課長 他

各県の木材協会等の会長、専務理事 他

議 事

- ・ 令和 4 年度国有林野事業について （四国森林管理局）
- ・ 木材産業に関する中央情勢等について （全木連）
- ・ 非住宅木造建築物など木材需要策及び JAS 普及の推進等について
- ・ 意見交換等について
- ・ 四国支部から全木連への要望

内 容

◆ 非住宅木造建築について

- ・ 各県ともハード支援（設計、建築）、シンポジウムの開催などをソフト事業により非住宅木造建築物の拡大、非住宅用の商品開発などへの支援
- ・ 森林環境贈与税を建築物や木製什器などの整備などに活用する事例が拡大



挨拶する小川会長

◆ JAS の普及につて

- ・ JAS 認証工場数が増加せず、特に非住宅木造建築物の推進には、機械等級区分への対応が不可欠であると考えているが、中小製材工場の参入には、制度や手続きの簡略化、手数料の縮減などが重要であると各県とも認識
- ・ 現在、JAS の見直しに関する議論が開始されている（全木連）

◆ 四国支部から全木連への要望

1 国産材による木材の安定供給体制の構築に向けた抜本的な支援

- 製材事業体が行う設備投資に対して、金融対策（貸付、利子補給）などと併せてハード支援のさらなる強化、また、半導体不足などから設備整備に長期間を要しており、弾力的な事業期間を検討
- 国産材の生産体制強化の支援と合わせて、サプライチェーンの構築に向け事業体間の連携を推進する取組への継続した支援
- 中小製材事業体に対して、マネジメント力の向上、事業継承や人材の確保育成など経営基盤の強化への支援

2 2050 年カーボンニュートラルの実現に貢献する木造建築物の整備の加速化

- 建築物への二酸化炭素の長期固定を推進するため、木造建築の整備への支援拡充、税制面の優遇措置の検討
- 木材の良さや木材利用することの社会的な意義などの情報発信の強化
- 木造建築に精通した建築士の育成
- 施主などへのアドバイスや相談できる体制づくり
- 木材の耐火性（難燃性など）、耐震性、耐候性などの性能を向上させるため、技術開発、新たな商品づくり

3 JAS 製材品の供給促進

- JAS 製材品の需要拡大を進めるための補助事業継続とさらなる対策の強化
- JAS 認証取得等に係る手数料低減化への見直しなどを検討・実施し、機械等級区分構造用の JAS 製材品が生産されやすい環境づくりの推進
- JAS 構造用製材品が適正な価格で、普及し流通できるように、発注者が設計単価として一般的に活用する「建設物価」や「積算資料」に適正な JAS 製材品単価を登載できるよう、働きかけること（そのステップとして、全木連のリーダーシップのもと、各県木連で設計単価表の策定に取り組むこと）

2023 年度予算概算要求

農林水産省は、8 月末に来年度予算概算要求を財務省に提出しました。この内、木材関係予算について紹介します。（林野庁のHP から）

森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち
林業・木材産業循環成長対策

【令和 5 年度予算概算要求額 11,801（－）百万円
林業デジタル・イノベーション総合対策 3,153（－）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

木材需要に的確に対応できる安定的・持続可能な供給体制の構築のため、木材加工流通施設の整備、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐、木造公共建築物等の整備等や、再造林の低コスト化に向けた取組への支援等、森林資源の循環利用確立に向けた取組を総合的に推進します。

＜政策目標＞

国産材の供給・利用量の増加（31 百万 m³〔令和 2 年度〕→42 百万 m³〔令和 12 年度まで〕）

＜事業の内容＞

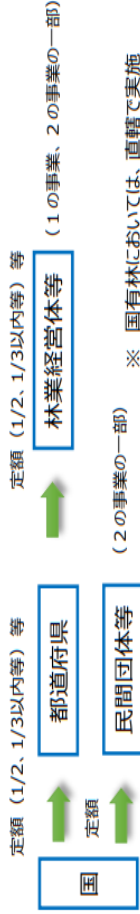
1. 林業・木材産業生産基盤強化対策

林業・木材産業の生産基盤を強化するため、木材加工流通施設の整備、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐、森林境界の明確化を支援するとともに、造林に係る新規参入者など多様な担い手の育成に対する支援を行います。さらに、木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設、木造公共建築物等の整備への支援等、需要拡大の取組を推進します。

2. 再造林低コスト化促進対策（一部林業デジタル・イノベーション総合対策）

林業の持続性を高める観点から、成長に優れたエリートツリー等の原種増産技術の開発及び種穂の採取源の確保、コンテナ苗等の増産に向けた施設整備等を推進します。さらに、一貫作業や低密度植栽等の低コスト造林や川上から川下まで一体となった再造林を推進します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

事業構想（都道府県が作成する 5 年間の取組方針）の下、国産材の安定的かつ持続可能な供給体制を構築するとともに、川上から川下まで一体となった再造林の推進によりグリーン成長を実現

林業・木材産業生産基盤強化対策

間伐材生産（搬出間伐の推進）、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、林業の多様な担い手の育成（造林に係る新規参入者や木材の確保、需要への支援）、森林整備地域活動支援対策（地産の集約化に向けた境界の明確化）、山村地域の防災・減災対策、森林資源保全対策（鳥獣害、病害虫対策等）

再造林低コスト化促進対策

コンテナ苗生産基盤強化等の整備、優良種苗生産推進対策（指定採取源の拡大やエリートツリー等の原種増産技術の開発、採種圃の整備等の取組を支援）、林業デジタル・イノベーション総合対策、低コスト再造林対策（一貫作業等による低コスト造林の取組に対して支援）

事業構想（都道府県が作成する 5 年間の取組方針）

川上：森林組合、素材生産事業者、自伐林家

安定的かつ持続可能な供給体制構築のための相互連携
川上から川下まで一体となった再造林

川中：製材事業者、合板事業者等

川下：木材需要者

林業・木材産業生産基盤強化対策

木材加工流通施設等の整備
木材産業の競争力を強化し、木材需要に的確に対応した安定的・効率的な木材製品の供給を行うため、大規模工場への支援を強化するとともに、大径材の加工能力の強化、原木輸送用トラックの導入等を支援

林業・木材産業生産基盤強化対策

木質バイオマス利用促進施設の整備（地域連携の下で熱利用又は熱電併給に取り組み「地域内エコシステム」を重点的に支援）、特用林産振興施設等の整備（地域経済で重要な役割を果たす木材の活用、林産物の生産施設等の整備を支援）、木造公共建築物等の整備、製材やCLT等の活用など木材利用のモデル化が高い施設の木造化・木質化を重点的に支援（建築物・木材利用促進協定締結者を優先的に支援）

【お問い合わせ先】 林野庁計画課（03-6744-2082）

建築用木材供給・利用強化対策

＜対策のポイント＞

<政策目標>

＜事業の流れ＞



木材需要の創出・輸出力強化対策

【令和5年度予算概算要求額 606（442）百万円】

<対策のポイント>

林業・木材産業のグリーン成長の実現に向けて、非住宅建築物等の木造化・木質化、木質バイオマスエネルギー利用、木材製品の輸出の促進、特用林産物の競争力強化等による木材需要の拡大を支援するとともに、合法伐採木材等の流通及び利用の促進を図るための支援や情報提供等を行います。

<政策目標>

国産材の供給・利用量の増加（31百万m³〔令和2年〕→42百万m³〔令和12年まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 非住宅建築物等木材利用促進事業 145（96）百万円

非住宅建築物等における木材利用の促進に向けて、木の効果の見える化※、建築物木材利用促進協定締結者による情報発信の取組等を支援するとともに、地域協議会等に対する専門家派遣等の技術的サポート※、工務店等の支援体制の構築に関するモデル的取組を支援します。 ※協定締結者を優先的に支援。

2. 「地域内エコシステム」展開支援事業 232（一）百万円

「地域内エコシステム」を推進するため、モデル構築の取組の加速化や技術開発等を支援するとともに、更なる普及に向けた、先行事例の情報提供や関係者の交流促進、人材育成等の機能を持つプラットフォーム（リビングラボ）の構築を支援します。

3. 木材製品輸出拡大実行戦略推進事業 100（75）百万円

産地協議会の設置やセミナー開催等による木材輸出産地の育成、企業間の連携によるモデル的な輸出の取組、海外における木造技術講習会の開催等を支援します。

4. 「クリーンウッド」実施支援事業 85（一）百万円

クリーンウッド法に基づき、合法性確認の実効性の向上等を図るため、事業者による合法性確認の取組や手引きの作成の支援、違法伐採関連情報の提供を実施します。

5. 国産特用林産物の国際競争力強化・生産性向上対策事業 44（一）百万円

特用林産物の新商品開発等の需要拡大やICT化に取り組み生産者のモデル的取組、輸出促進に向けた輸出先国のニーズ・制度等の課題に関する情報収集、知的財産に係る課題解決に向けた実証等を支援します。

<事業の流れ>

定額、委託

国

民間団体等

【お問い合わせ先】（1～4の事業） 林野庁木材利用課（03-6744-2120）
（5の事業） 経営課（03-3502-8059）



土佐材産地商談会

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による行動規制も無くなって県外からの来客が増えてきています。今回は京都の大手ビルダー工務店が社員研修で高知を訪れました。訪問者のうち5人は設計部門の方たちで、熱心に研究施設を見学していました。



森林技術センター



林業大学校

実施日：令和4年7月21日(木)・22日(金)

訪問客：京都の土佐材パートナー企業6人

協力：高知県立森林技術センター

高知県立林業大学校

(協)高幡木材センター

津野町森林組合

梶原町森林組合



津野町森林組合



高幡木材センター

桧リサイクルBOX 贈呈式 & 四万十桧に親しむイベント



贈呈された桧リサイクルBOX



一条会四万十工房、工房ポレポレ

幡多農業高校の学生が、四万十桧でリサイクルBOXを製作し、四万十市役所の担当課の立ち合いのもとサニーマート四万十店で贈呈式が行われました。

また、同日、店舗東側通路で開催された「四万十桧に親しむイベント」に木材協会も参加して木製玩具の遊び場を出展しました。

開催日：令和4年8月6日(土)

参加6社(団体)：

(社福) 一条会四万十工房、工房ポレポレ、ホームセンターマル二、木礼塾、かわらっこ、高知県木材協会



かわらっこ(桧のかなばで花づくり)



木の乗り物と木の玉プール

大阪 ATC 夏休み木材にぎわい展



大阪ATC（大阪市南港）では、夏休み終盤の土日となった8月20・21日に、館内でいくつかのイベントが開催されており、子ども連れの家族も含め多くの方が来場されていました。

こうしたイベントに併せて、ATCの9階にある木製品常設展示場（WOODMEETS）に出展している和歌山県、島根県、徳島県、高知県の4県が、2階に特設会場を設置して木材利用のPRを行いました。

協会ではPRの秘策として「Wチャンスくじ」を実施。まず、2階で観光案内パンフレットや抽選券を配り、プレゼント投票箱＆抽選会場である9階の常設展示場へ誘導しました。ここでは「展示品の中で良いと感じた3つにマルを付けて」のアンケートを実施し、その効果もあって、多くの方に木製展示品を見てもらうことができました。



開催日：令和4年8月20日(土)・21日(日)

開催場所：大阪ATC 2階特設会場

・9階常設展示場

参加県：和歌山県、島根県、徳島県、高知県

2階特設会場

抽選券配布：927人

木製品冊子や観光パンフレットの配布

：430組

(写真上) 9階常設展示場

(写真下) 2階特設会場

9階常設展示場

来場者： 750人

アンケート回収： 534枚



高知県の展示ブース

東京都主催のモクコレは、昨年度（2022年2月）新型コロナウイルス感染拡大によりリアル開催ができませんでしたが、今回は20都道県が浜松町展示場に集結。各都道県自慢の木材・木製品を展示しました。

高知県ブースでは、組子耐力壁をメインに土佐草木花の展示もあり、他のブースより華やかな演出でひととき目立っていたようです。開会式直後には、小池東京都知事も高知県ブースにお立ち寄り頂きました。



中谷先生も応援に駆けつけてくれました。

開催日：令和4年8月24日(水)～26日(金)

場所：東京都立産業貿易センター浜松町館

参加：20都道県

来場者数：1,474人

高知県出展：(協)高幡木材センター、(株)土佐組子
(株)エコアス馬路村、土佐草木花



エコアス馬路の展示

原宿表参道元氣塾 スーパーよさこい 2022「協働の森づくり・木工連」



高知県ブース

新型コロナウイルス感染症の拡大によりここ2年間は開催できませんでしたが、高知の本場よさこい祭りと同じく東京も3年ぶりに復活しました。全国から73チームの参加、高知県からも9チームがエントリーしていました。

途中に少し雨も降りましたが、概ね曇り空のすずしい天気で、原宿表参道・明治神宮・代々木公園は数万人の人だかりとなって賑わいました。

木工連では「協働の森づくり事業」をPRしながら竹細工や桧オイルの販売を行いました。

開催日：令和4年8月27日（土）・28日（日）

場 所：東京都渋谷区代々木公園NHKホール横

出展者：フォレスト、ひのき屋、武田玩具



木工連の販売品



みんなでよさこい

(株)HIKARI ウッドステーション金沢 土佐材展



開催日：令和4年9月9日（金）

開催場所：石川県金沢市かたつ21番地 (株)HIKARI ウッドステーション金沢

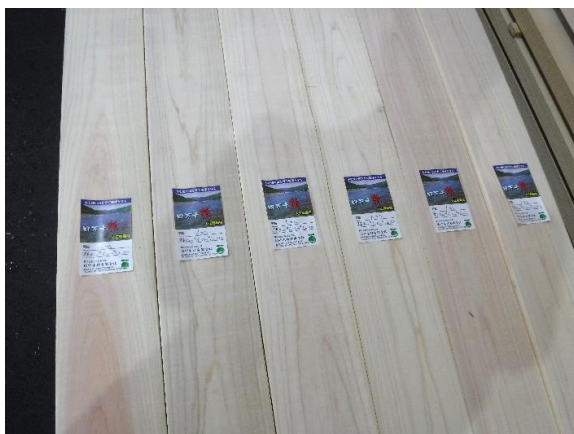
来客：120人 70社

当日土佐材販売実績：約 15 m³

今年度2回目となる金沢での土佐材展の開催。

名古屋のAishinHIKARIから移動してきた材もあり、(協)高幡木材センター・(協)西部木材センターの役物が並んでいました。

北陸でも最近の木材の動きは悪く苦戦しているようでした。



四万十ヒノキの乾燥材



土佐材コーナー

第5回とさこみち Moku の市



クルミ工房・水口木工所（ジラーフユニット使用）

サニーマート御座店と農協店舗「とさのさと」の間の通路を「とさこみち」と呼び、土日祭日などはフリーマーケットなどで賑わっています。木製品製造事業者の参加は、これで5回目。木材普及推進協会も木の玩具貸出で応援しました。



小高坂更生センター

開催日：令和4年9月10日(土)・11日(日)

開催場所：サニーマート御座店

参加企業：(社福)小高坂更生センター
ソマタカ、(株)土佐龍、
クルミ工房、水口木工所

秋になって屋外のイベントもちょっと涼しくて過ごしやすくなりました。ジラーフユニット4基を並べると露店市の雰囲気満点でした。



ソマタカ・(株)土佐龍



ジラーフユニット

イベントブースや災害時には間仕切りブースに使えるデザインブースです。

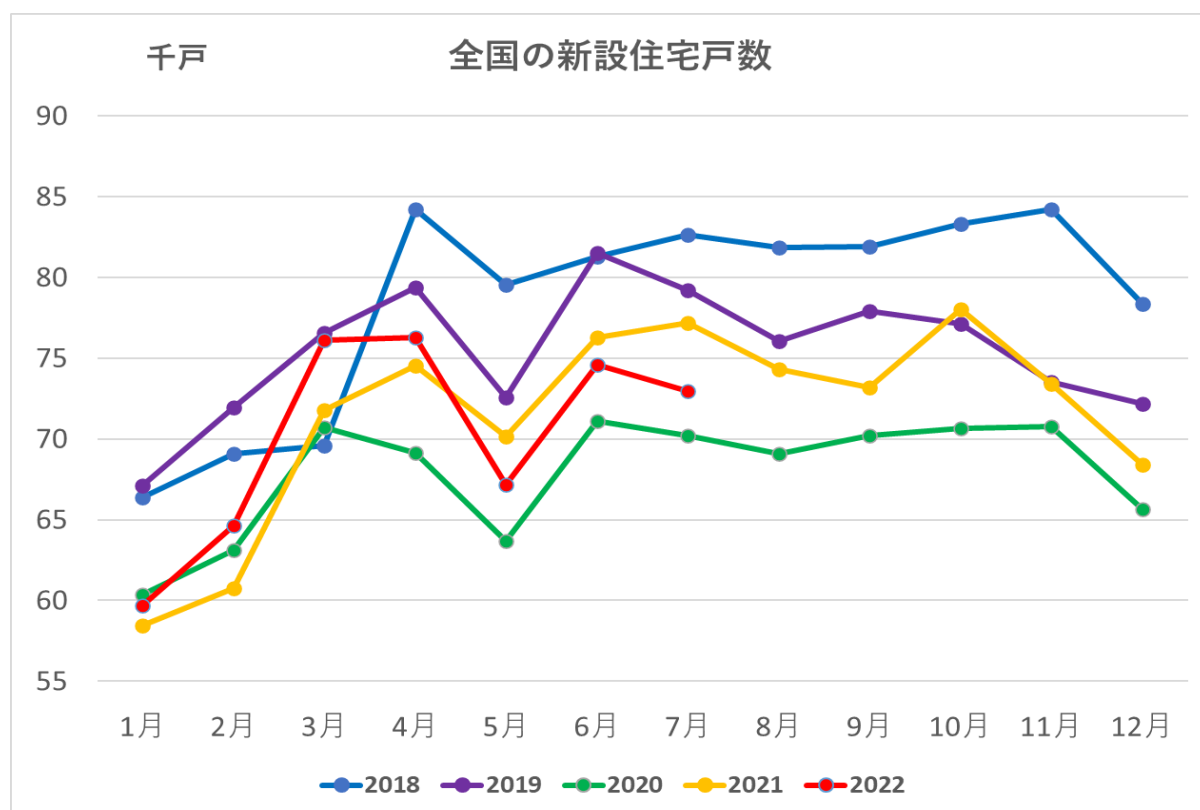
住宅着工情報

令和4年7月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表（政府木材統計による）

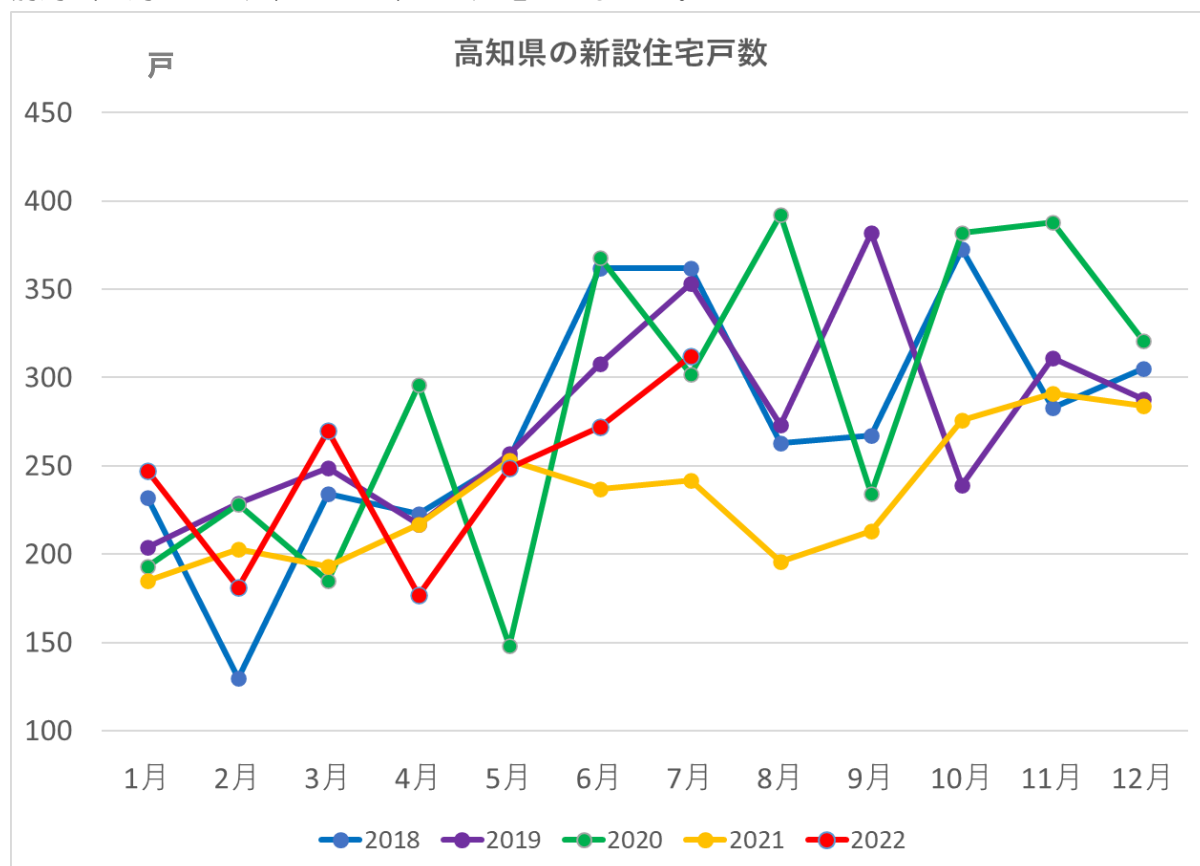
（単位：戸、％）

	総数		持家		賃貸		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	3,103	7.4	943	-15.0	1,589	17.9	20	-25.9	551	35.7	253	55.2	298	22.6
青森	485	-10.4	315	-19.4	115	57.5	1	-91.7	54	-16.9	0	0.0	54	-16.9
岩手	556	-15.4	292	-24.0	217	0.0	0	-100.0	47	-14.5	0	0.0	47	-14.5
宮城	1,585	10.5	396	-14.3	722	47.6	3	50.0	464	-3.7	110	-38.9	352	16.6
秋田	292	-17.7	215	-15.4	53	-37.6	0	-100.0	24	71.4	0	0.0	24	71.4
山形	414	-26.6	208	-31.8	151	-16.6	5	-50.0	50	-26.5	0	0.0	50	-26.5
福島	926	7.9	449	-12.5	228	46.2	33	312.5	216	19.3	44	-	172	-5.0
茨城	1,498	-6.3	734	-12.5	477	1.1	5	0.0	282	-0.4	0	0.0	280	-1.1
栃木	910	-12.7	528	-16.5	193	-1.5	0	-100.0	189	-5.5	0	0.0	189	-5.5
群馬	1,068	13.4	432	-17.1	145	39.4	21	950.0	470	49.2	250	131.5	220	6.3
埼玉	3,945	-12.5	1,238	-12.4	1,456	-12.2	25	733.3	1,226	-14.3	32	-83.5	1,194	-3.2
千葉	4,232	11.6	1,115	-6.5	1,808	23.8	17	30.8	1,292	14.6	385	127.8	891	-7.0
東京	10,743	-7.1	1,342	-9.1	5,512	0.8	20	42.9	3,869	-15.9	2,291	-26.5	1,539	6.1
神奈川	6,431	31.6	1,275	-6.9	2,889	72.8	7	-75.9	2,260	24.4	824	45.1	1,418	16.6
新潟	814	-14.2	539	-7.4	165	-21.1	0	-100.0	110	-24.7	0	-100.0	110	27.9
富山	593	-16.2	266	-22.4	238	-22.7	5	-72.2	84	115.4	42	-	42	7.7
石川	627	1.3	295	-10.9	253	18.8	0	-100.0	79	21.5	0	0.0	79	21.5
福井	498	17.5	197	-14.7	253	75.7	8	700.0	40	-16.7	0	0.0	40	-16.7
山梨	398	-30.5	231	-22.5	126	-37.3	0	-100.0	41	-16.3	0	0.0	41	-16.3
長野	983	-15.2	559	-17.1	284	-18.9	0	-100.0	140	4.5	0	0.0	138	14.0
岐阜	857	-15.5	508	-8.1	164	-44.8	2	100.0	183	12.3	0	0.0	183	12.3
静岡	1,852	13.5	903	-6.2	672	92.0	5	-28.6	272	-12.8	0	-100.0	272	1.1
愛知	4,298	-31.1	1,452	-24.8	1,440	-36.1	30	42.9	1,376	-32.2	360	-56.1	1,016	-15.4
三重	1,041	17.9	389	-15.4	336	38.3	4	-55.6	312	82.5	205	192.9	107	5.9
滋賀	774	-15.8	364	-6.9	309	48.6	3	-62.5	98	-68.6	0	-100.0	92	-25.2
京都	1,392	-17.2	382	-13.2	666	-13.4	0	-100.0	344	-24.2	153	-38.3	191	-7.3
大阪	5,849	-18.0	913	-12.9	2,655	-19.5	16	433.3	2,265	-18.5	1,422	-24.5	834	-6.5
兵庫	2,509	3.5	784	7.8	782	-17.5	13	-67.5	930	31.0	431	63.3	499	14.2
奈良	563	-1.7	231	-15.1	172	-2.8	0	0.0	160	29.0	10	-	150	21.0
和歌山	358	-21.3	229	1.3	57	-68.0	22	-	50	-2.0	0	0.0	50	6.4
鳥取	256	40.7	155	14.8	86	168.8	0	0.0	15	0.0	0	0.0	15	0.0
島根	282	1.8	105	-27.6	119	56.6	0	-100.0	58	5.5	44	10.0	14	-6.7
岡山	1,125	19.9	433	-3.6	416	5.1	3	-	273	193.5	151	-	122	31.2
広島	1,718	20.7	422	-14.4	786	53.8	1	-50.0	509	22.1	218	78.7	291	1.7
山口	557	-8.7	245	-19.4	162	-34.1	2	100.0	148	150.8	72	-	76	28.8
徳島	219	-24.5	158	-8.7	32	-62.8	1	0.0	28	-6.7	0	0.0	28	-6.7
香川	521	-19.8	221	-30.3	102	-58.7	1	-	197	129.1	120	313.8	77	35.1
愛媛	486	-24.4	260	-17.5	139	-47.1	0	-100.0	87	45.0	42	-	45	-25.0
高知	312	28.9	131	-9.7	134	97.1	1	0.0	46	64.3	0	0.0	46	64.3
福岡	3,129	-14.5	738	-21.0	1,609	1.8	4	-87.9	778	-30.0	207	-64.7	567	8.0
佐賀	469	-11.5	192	-18.6	217	2.8	1	-	59	-28.9	0	0.0	59	-28.9
長崎	726	23.1	246	0.8	418	70.6	2	-87.5	60	-29.4	0	-100.0	60	106.9
熊本	891	-16.2	399	-31.7	317	7.8	4	300.0	171	-7.1	0	-100.0	171	17.9
大分	535	-5.8	210	-23.6	260	17.6	1	0.0	64	-9.9	0	0.0	64	-9.9
宮崎	496	-15.9	213	-30.6	213	-3.6	2	-	68	9.7	0	0.0	68	9.7
鹿児島	934	-8.3	351	-21.1	268	-4.6	6	-53.8	309	10.4	198	13.1	111	5.7
沖縄	731	-18.9	203	-15.1	263	-49.5	1	-90.0	264	101.5	189	-	75	-42.7
合 計	72,981	-5.4	22,406	-14.1	29,668	1.5	295	-26.4	20,612	-4.0	8,053	-11.7	12,461	1.8
北海道	3,103	7.4	943	-15.0	1,589	17.9	20	-25.9	551	35.7	253	55.2	298	22.6
東北	4,258	-3.4	1,875	-18.8	1,486	23.7	42	20.0	855	-1.2	154	-14.4	699	2.0
関東	30,208	0.5	7,454	-11.4	12,890	11.3	95	-10.4	9,769	-1.9	3,782	-9.0	5,910	3.3
北陸	2,532	-6.2	1,297	-12.8	909	4.0	13	-68.3	313	5.0	42	-30.0	271	13.9
中部	8,048	-17.6	3,252	-16.7	2,612	-16.9	41	7.9	2,143	-19.9	565	-39.4	1,578	-9.0
近畿	11,445	-13.2	2,903	-6.5	4,641	-16.8	54	-21.7	3,847	-13.2	2,016	-22.0	1,816	-0.7
中国	3,938	14.8	1,360	-10.9	1,569	24.4	6	50.0	1,003	57.0	485	199.4	518	10.7
四国	1,538	-15.7	770	-18.9	407	-38.7	3	-57.1	358	75.5	162	458.6	196	12.0
九州	7,180	-10.5	2,349	-22.3	3,302	8.1	20	-68.8	1,509	-19.6	405	-52.2	1,100	7.8
沖縄	731	-18.9	203	-15.1	263	-49.5	1	-90.0	264	101.5	189	-	75	-42.7
首都圏	25,351	2.5	4,970	-8.8	11,665	13.7	69	16.9	8,647	-3.6	3,532	-12.8	5,042	3.8
中部圏	8,048	-17.6	3,252	-16.7	2,612	-16.9	41	7.9	2,143	-19.9	565	-39.4	1,578	-9.0
近畿圏	11,445	-13.2	2,903	-6.5	4,641	-16.8	54	-21.7	3,847	-13.2	2,016	-22.0	1,816	-0.7
その他地域	28,137	-4.6	11,281	-17.1	10,750	4.9	131	-44.3	5,975	10.6	1,940	25.2	4,025	5.4

全国における7月の新設住宅着工数は72,981戸で、対前年同月比で5.4%の減少。
前月（6月 74,596戸）からは、1,615戸減少しました。

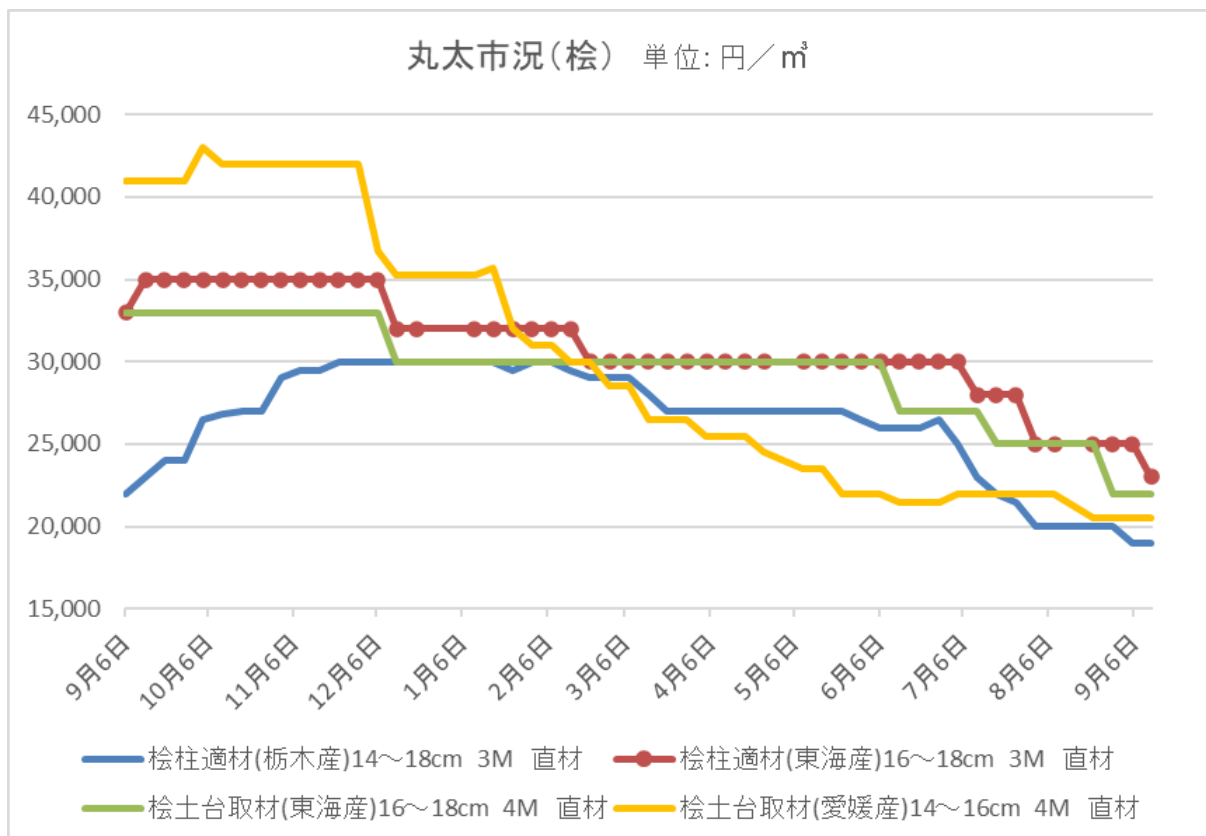
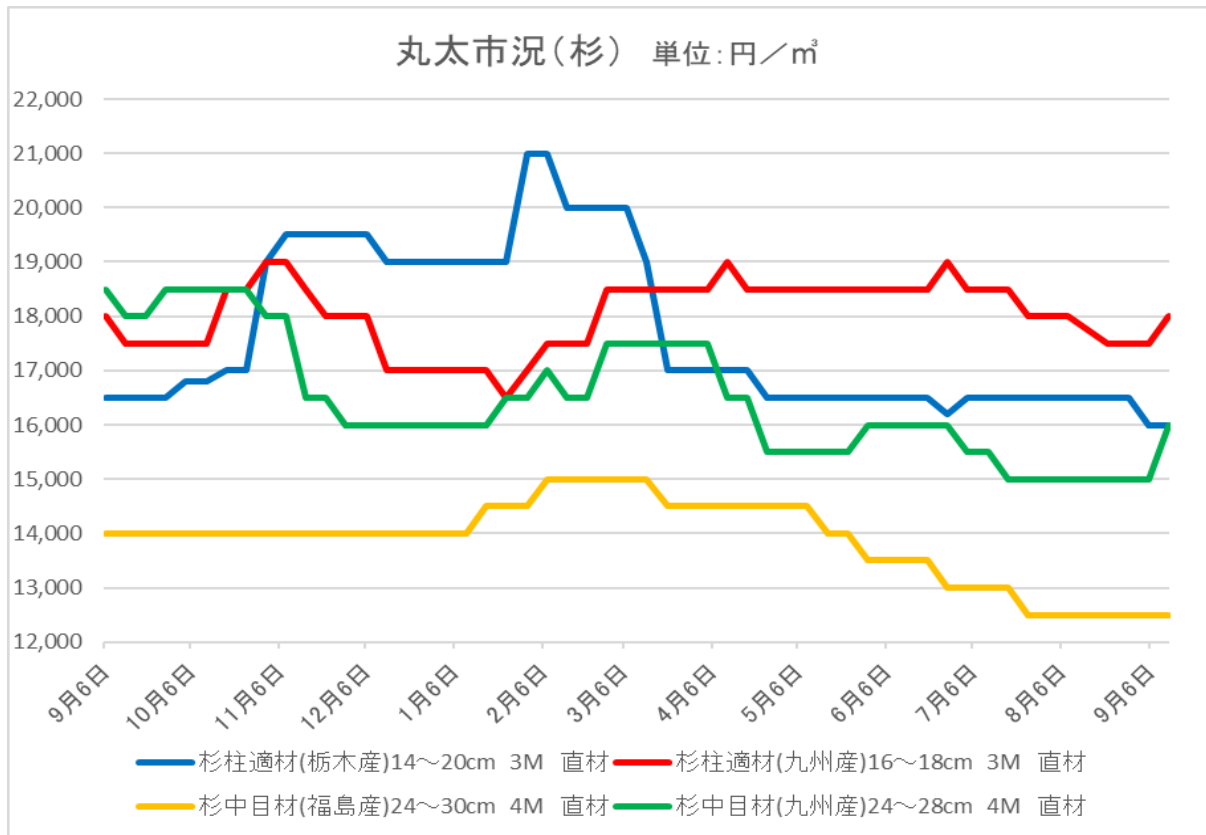


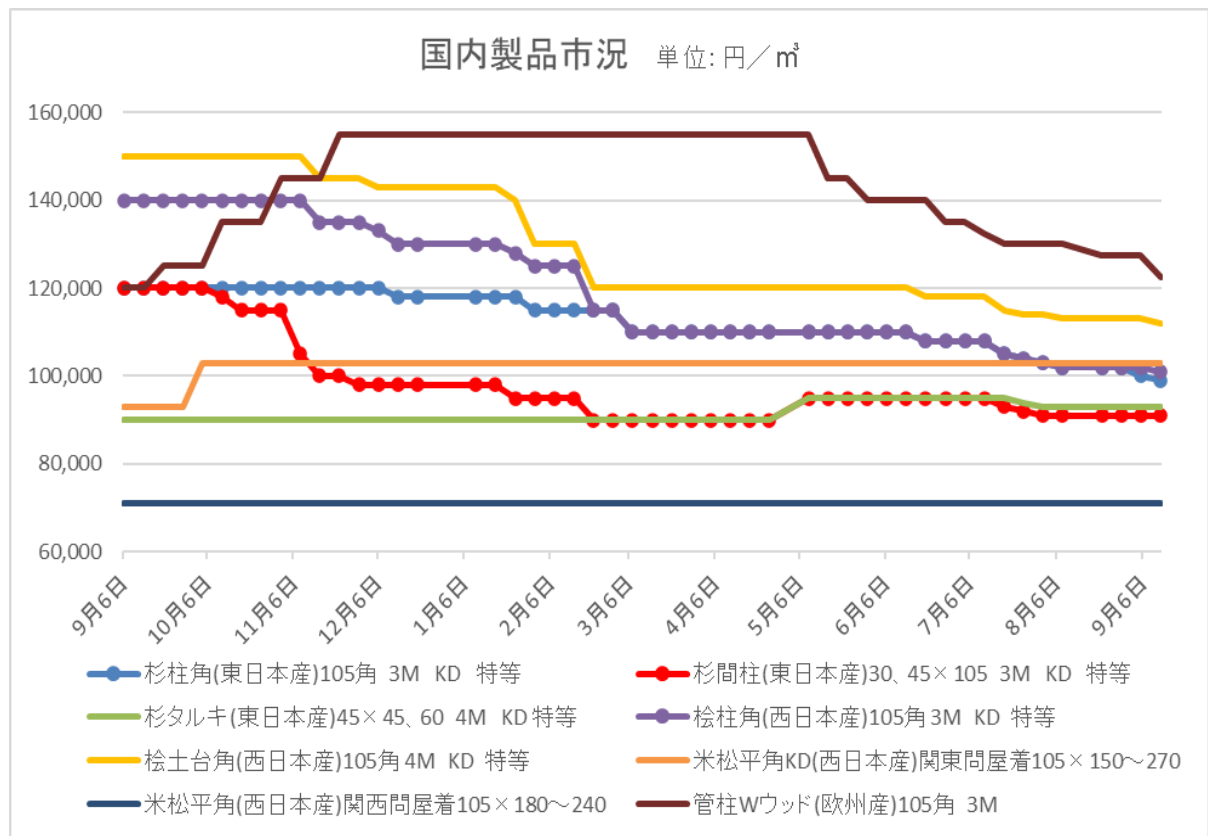
高知県における7月の新設住宅着工数は312戸で、対前年同月比で28.9%の増加。
前月（6月 272戸）からは、40戸増加しました。



木材価格情報

令和3年9月～令和4年9月 (木材建材ウイクリーによる)





建築中の土佐材住宅（大阪府寝屋川市）



関東だより

今回、関東駐在の協会だよりに記念すべき第1回を掲載するにあたって、埼玉県川越市の綾部工務店さんを取材させて頂きました。綾部工務店さんは伝統構法である石場建ての家造りをされており、構法だけではなく、4号特例や綾部さんの考える省エネについて、3回に分けてご紹介します。



有限会社綾部工務店一級建築士事務所

綾部 孝司さん

石場建てという伝統構法で狭く深い領域に特化し、景気や情勢に左右されずに残っていく家造りをされています。材料は国産の無垢材を余すところなく使い、本来あるべき姿の家造りを追求しながら、若手大工への伝統構法の継承にも尽力されています。

第1回『4号特例について考える』

第2回『本当の省エネとは？』 協会だより No.76 予定

第3回『綾部さんの家造りと想い』 協会だより No.77 予定

第1回『4号特例について考える』

1 今後の法律と住宅について

建築の法律が変化してきている中、大きく変化するのは建築基準法の4号特例の縮小。これは実務に大きな影響を与えます。省エネ法の義務化は2025年にある予定。それに向けて実務者は何をすべきなのかが、今後重要になってくるのではないのでしょうか。今年の5月20日に国土交通委員会で、省エネ法を普及させていくという方向は満場一致の状態。ただ、見えてこないところが多くどのような影響が出てくるのか…。義務化するにあたって対象となってくる建物が本当に省エネ基準に合わせられるのか疑問があります。

今後省エネ基準に住宅を合わせると、ZEH基準の太陽光パネルを乗せたり窓ガラスを3層にしたり、胴縁に外張断熱材を取り付け付加断熱を行うといった事例が出てきます。このように装備が増えてきて重くなったり、断熱材が厚くなったりすると、構造上今の基準では無理があるのではないかとされています。さらに、構造計算を省略できる基準が500㎡から300㎡に縮小されたことから設計作業量が増えてきます。ただ、頭の法律が決まっただけなので施行令や規則、告示が出てくるのはこの先の話。具体的なことはまだ見えていません。

2 4号特例について

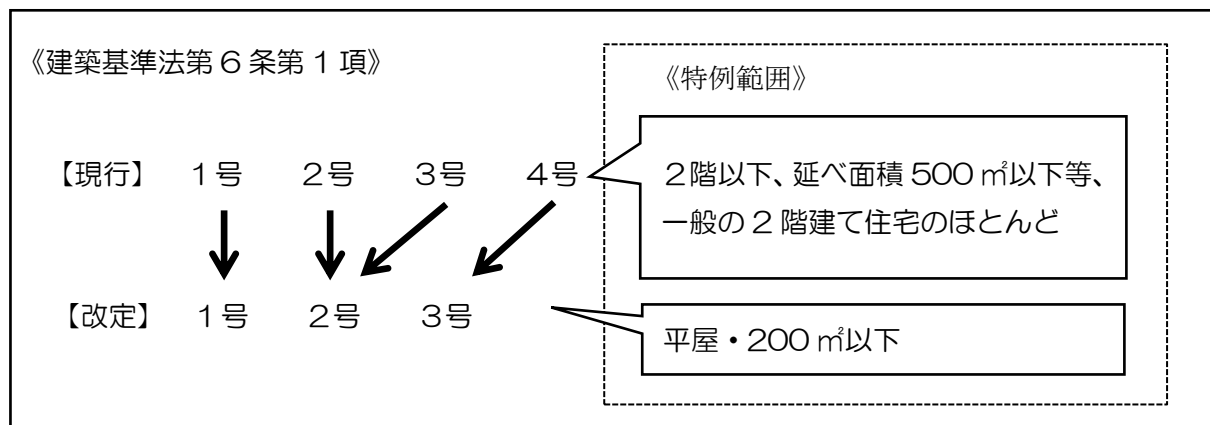
そもそも4号特例とは何か？

建築基準法第6条の4に基づき、特定の条件下で建築確認の審査を一部省略する規定です。これにより必要な審査書類は少なくまた、審査期間も短縮されます。現在の木造の4号建築物は右図の条件の建物になります。

- ・ 不特定多数の方が利用しない建物
- ・ 2階建て以下
- ・ 延べ面積 500㎡以下
- ・ 高さ 13m 以下
- ・ 軒の高さが 9m 以下

これらの条件から、現状では一般の2階建て住宅のほとんどが該当し、審査の省略が認められ建築士が設計していれば、建築確認審査に構造チェックの資料は添付する必要はありません。（法に適合した適切な設計は必要です。）

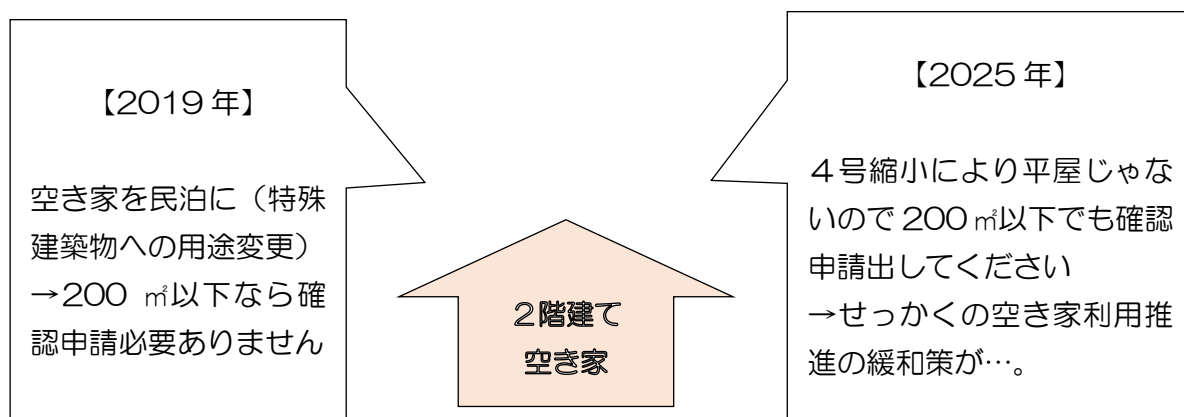
しかし、4号特例の範囲は縮小され3号となり、1～3号だけになってしまう。これまで2号と3号であったものが統合され2号に一元化されることで、4号は名前を変えて3号になります。3号の平家・200㎡以下がこれからの特例範囲となります（下図参照）。



これを踏まえて、空き家利用に関しては、200㎡以下の特殊建築物への用途変更については、確認申請が必要無いという建築基準法の一部改正が、2019年から施行されています。

ところが今回の4号縮小により平屋という条件によって、町中にあるほとんどの2階建て以上の建物が特例に該当しなくなってしまう、新築でない大規模修繕でも確認申請が必要になってきます。

つまり、空き家（2階建て以上）利用に関しては、2019年からの緩和策が2025年予定の4号縮小によりわずか7年足らずの緩和策となってしまう矛盾が生じてしまうことになります。



また、瓦屋根の葺き替えについては、確認申請がいらないというのが共通見解になりそうですが、瓦だけ交換するということはまず無く、修繕するのに野地板まで直す可能性が出てきます。そうすると屋根が主要構造部となって過半を超える可能性が高くなります。修理をし始めた際は過半にはならないと思い進めてみたら、過半を超えて、確認申請を出す可能性が発生。つまり、事前調査が非常に重要になり、費用をかけて調査を実施しなければいけなくなります。しかし調査費に何十万円もかけているなら、最初から確認申請を出してしまった方が良いということになりますが、確認申請の審査期間は長くなるといったことを踏まえると、今後、それらを事前に考慮し、工程を組んでおかななくてはならないでしょう。

3 4号の縮小はなぜ？

この先 2030 年の ZEH が義務化される頃になると、既存の建物にも省エネについてなんらかの措置が必要になる可能性があります。そこで確認申請の範囲を今のうちに増やし、構造上の安全性を確保したいというのが4号縮小の元々の理由ですが、省エネ的にも審査機関が入ってその基準にあった建物がきちんと造られているかを審査し、消費者保護や悪徳リフォーム業者の排除という観点からも4号縮小の意味があります。

ただ、省エネ法が義務化を実効性あるものにするには、勝手にリフォーム業者がやるのではなく、きちんと申請したものでその通りやって完了検査も受ける、となればそれなりの実効性が出るのではないのでしょうか。したがって工事を請け負う者はきちんとした技術的な裏付けがないとできなくなってきます。この先許可業者の基準など建設業許可等も持ってないと工事ができないということも考えられます。色々な意味で野放しになっていたところを取り締まっていくという意味合いと、基準法ではなかなかできなかったところを、省エネという世界的な流れに沿って実効性が求められてきたということにより、ほとんどの建物に確認申請が必要（200㎡以下の平屋を除く）な理由と考えています。

その中でどういう家造りをやっていくべきなのか…。今までは住宅の4号建築物に該当するのは町場の大工がその多くを造り屋根を専業とする瓦屋などが直接修繕を行うこともされてきました。大規模に屋根を直すとなると瓦屋が確認申請を出さなければならないということになってきます。自分のところでできなければ設計事務所と連携するような体制がより必要となります。



施工事例 ～雑木の庭に建つ石場建ての家～ 埼玉県川越市

経営セミナー

高知県と木材協会の共催で8月31日（水）、ちより街テラス（ちよテラホール）において、経営セミナー（オンライン併用含め約50名参加）を開催しました。

セミナーでは、岐阜県株式会社山共代表取締役田口房国氏に「昭和～平成～令和 どんどん面白くなる木材業界」と題して基調講演をいただきました。田口氏からは、木材業界の過去を振り返りながら、昨今のSDGsなど木材を取り巻く環境の変化を受け、木材への認識を捉え直し、積極的に木材利用による社会貢献等を進めて行くことが重要との、貴重なお話を聞くことができました。参加をいただいた方には大きな刺激となり、今後の取り組みの参考になったと考えています。

また、農林漁業信用基金、株式会社日本政策金融公庫から「金融制度等」の説明、高知県・大学等連絡協議会からは「シーズ・研究内容紹介」がありました。



(株)山共 田口社長



金融制度等の説明



シーズ・研究内容紹介（高知県・大学等連携協議会）
高知工科大学 古沢教授

高知大丸夏のイベント

期 間：令和4年8月17日（水）～8月23日（火）

場 所：高知大丸本店 4F プラグスマーケット「伝え場」

参加団体：高知県木製品工業連合協同組合（10社）、ぷらっとホーム Moku

イベント内容：

- ・木のなんでも相談窓口「ぷらっとホーム Moku」による住宅相談、ワークショップ、木材の効果（木のにおいと脈拍測定）、県内木造建築物パネル展示、木の良さ・効能パネル展示 など
- ・高知県木製品工業連合協同組合による木製品展示販売

イベント総括：

春のオープンイベントより短い期間であったが、一定売上額は達成されました。

また、新しい取り組みとして、ヒノキの香りでリラックスできる体験（脈拍測定）では、3日間で60名のお客様に参加いただき、木材の健康面に与える効果がPRできました。

次回の大丸イベントは、1月中下旬（1/17～24）に開催予定です。



木製品展示販売

ぷらっとホーム
Moku



リラックス体験



木造住宅相談



ワークショップ

工務店を対象とした JAS 製材の出前講座

高知県内の主要な工務店を対象として、出前講座方式により、製材 JAS 制度や県内認証工場の現状等について、これまで3か所で説明会を開催し、JAS に関する質疑応答や、情報交換を行いました。今後も、引き続き開催して JAS 製材品の普及に努めます。

- 6月15日（本山町）
A 工務店（14 名参加）
- 6月17日（高知市）
B 工務店（12 名参加）
- 6月17日（高知市）
C 工務店（3 名参加）



高知市内の B 工務店での開催状況



非住宅建築物事例（四万十町）



同左



非住宅建築物事例（高知市）



同左

高知の木で都市木造「高知モデル」 ①

高知の木で建てる都市木造

見慣れたコンクリートと鉄とガラスの街並みが都市木造の木の質感により生まれ変わります。

かつての日本で普通にあった木の街の風景が戻ってくるのは遠い未来ではありません。

強く、大きく、美しく成長した高知のヒノキやスギを最大限生かした都市木造『高知モデル』を開発しています。

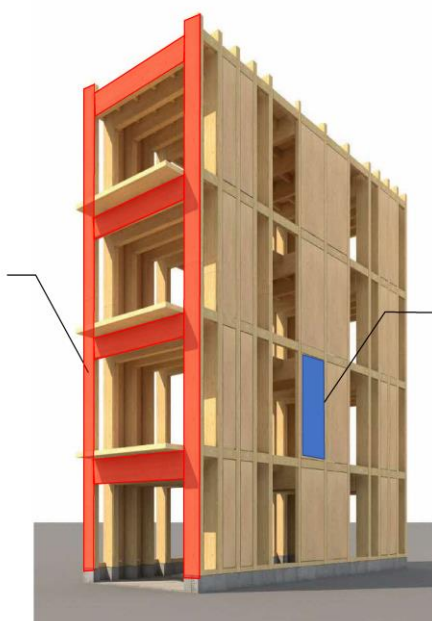


3階建て・4階建ての木造門型フレーム

①メインフレーム

ヒノキ集成材

GIR 接合



②耐力壁

高知モデルは、柱と梁でフレームを構成するラーメン構造となっています。

室内は柱のない広々とした空間となり、内部の間仕切り壁も自由に配置できるメリットがあります。店舗や事務所ビルとして使用しやすいモデルです。

都市部で木造を建築する際に課題となっていた火災時への対応については、3階建は燃え代設計による準耐火建築物とすることで、木の構造体を見出しで使用することができます。4階建の場合は、構造体を耐火被覆することで耐火建築物として建築することができます。

高知モデルは、木造の住宅施工がメインの工務店や、中層の鉄骨造を施工されている施工会社が、中層都市木造の計画を推進できるモデルです。

もくもくエコランド 2022 第5回森林環境学習フェア

「もくもくエコランド 2022 第5回森林環境学習フェア」を開催します。このフェアは、多くの県民の方々と森林林業・木材業界との繋がりを創出するイベントです。皆様のご来場をお待ちしています。

ふれて、知って、まもろう、こうちの森林

10月は「高知県木材利用推進月間」と「ウッド・チェンジ月間」です

500

発見、体験、学習！
「こうちの森」

森林の持つ多面的機能や
森林環境保全の大切さを
楽しく学ぼう！

22日 23日

DIY作業や
楽しさを語る！
「山の自然」「木の大切さ」
「DIY」を語っていただきます。
木工作業もお披露目するよ！

「ユージ」ショー★

CoMORIとトーク・木工実演も！

もくもくエコランド2022

第5回 森林環境学習フェア

入場無料

2022 10.22(土) 23(日) 10:00～16:00

高知市中央公園、帯屋町1丁目アーケード

**4つのエリアで
高知の森林をもっと知ろう・楽しもう！**

森をささえよう
『森林保全活動の
取り組みを知る』

森にふれよう
『森林の持つ
多面的機能学ぶ』

林業現場で働く機械や
最新の工具を見てみよう
・林業ではたらく人を
育てる学校を知ろう

テレビ紙芝居
「ロボッキーと森のぼうけん」
・森林の役割について
学ぼう

木と暮らそう
『木と共生する暮らしや
知恵・技術にふれる』

木をつかおう
『県産木材で作られた
製品を知る』

段ボール家づくり
・住宅の相談など

高知県産材を使った家具、
木工製品、雑貨類の展示や販売
・高知県産間伐材を使った
ワークショップ
・親子で簡単に楽しめるけん玉の技体験

【森を学ぶ・知る・楽しむ】ブース
もりたけもさん！

**アンケートに答えて
「お花の苗」をもらおう！
スタンプラリーですてきな
プレゼントがもらえる！**

23日
アルプホルン演奏

22日 23日
美夢

その他ステージイベント
出展ブースがもりたくさん!!

主催／高知県、高知県木材普及推進協会

※新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、イベント内容を変更又は中止する場合があります。

協賛／(一社)高知県木材協会、高知県木製品工業連合(協)、高知県木材(協)、高知県木材商業(協)、高知県建具(協)、(公社)高知県建築士会、(公社)日本建築家協会四国支部高知地域会、高知県森林組合連合会、(協)高知県木材工業団地連盟、高知県中央木材工業団地(協)、土佐林業クラブ、(一社)高知県山林協会、高知県素材生産業(協)連合会、(協)高知木材センター、(協)高知木材センター、(協)西部木材センター、(株)HIKARI高知龍馬木材市場、(株)太洋木材市場、高知県林材(株)、ウッドテクノス(株)、(株)四国銀行、(株)高知銀行、高知信用金庫、四国労働金庫高知営業本部、(株)高知前川種苗、高知県信用農業(協)連合会、ミタニ建設工業(株)、四国建販(株)、(株)見立、ヨンケン(株)、高知県建設労働組合高知支部、高知商工会議所

後援／NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、(株)エフエム高知、高知ケーブルテレビ(株)、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、香美市教育委員会、四国森林管理局、(公社)高知県森と緑の会、高知県立森林研修センター情報交流館、(協)帯屋町筋、高知県青年林材協会

お問い合わせ／株式会社 歳時記屋 高知市杉井流19-2 TEL(088)882-0333(平日10:00～18:00)
※車いすのご来場・盲導犬を帯同してのご参加など、会場への配慮をご希望の方は上記「歳時記屋」まで事前にお問合せください。

高知家

詳しくはこちら

第48回木材まつりご案内

恒例の（一社）高知県木材協会の主催による第48回高知県木材まつり「優良土佐材展示即売会」を開催します。

高知県産優良素材と製材品を一堂に集積し、その評価の高揚と業界の振興発展を図るための年に1度のイベントであります。出荷者、買い方の皆様におかれましては、この展示即売会を盛会裏に開催するため、多大の出荷とお買い上げにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止にもご協力頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

素材の部

高知県林材（株）

高知市仁井田新築 4348

電話：088-847-0111

FAX：088-847-0116

令和4年10月24日（月）

開市10時 表彰式12時半

高齢級桧 造桧 造杉 他

製材品の部

（協）高知木材センター

高知市仁井田新築 4517-8

電話：088-847-4411

FAX：088-847-4430

令和4年11月10日（木）

競り開始 8時30分 表彰 11時50分

役物類（造作材、柱材 他）

一般材（桧土台、柱材、板材 他）

主催 一般社団法人高知県木材協会

高知市小倉町2番8号 電話：088-883-6721 FAX：088-884-1697

後援 高知県、四国森林管理局、高知市、高知県森林組合連合会

高知県素材生産業（協）連合会、高知県木材産業（協）連合会

高知県木材協同組合、（協）高知県木材市場連盟

高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ

開催場所 **協同組合 高知木材センター**

高知県高知市仁井田新築 4517-8
TEL: 088(847)4411 FAX: 088(847)4430

販売方法 競り市の方法による

出品材 **優良土佐材** (スギ・ヒノキ他)

出品依頼 **高知県内46製材所**
(目標出品材積 850m³)

開催時間 《コロナ下における“時短”プログラム》

競り開始 8:30～ 役物類【造作材、柱等】

10:30～一般材【桧土台、柱、板等】

競り終了 11:50～ 優良出品物件 表彰

※今回の昼食は、クラスター防止の観点から、食堂での食事時間を設けず、各位お帰りの際に「弁当・飲み物」をお持ち帰り頂きます。



四国島内限定のご案内

2022年
11月10日【木】

優良土佐材 展示即売会

第48回木材まつり

製材品の部



新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください。

発熱・咳・のどの痛み、だるさなど体調不良の方は、ご来場をお控えください。



マスクの着用



手洗い手指の消毒



検温の実施



人との距離をあげる

主催 一般社団法人 **高知県木材協会**

高知県高知市小倉町2番8号 TEL:088(883)6721 FAX:088(884)1697

後援 高知県、四国森林管理局、高知市、高知県森林組合連合会、
高知県素材生産業(協)連合会、高知県木材産業(協)連合会、
高知県木材協同組合、(協)高知県木材市場連盟、高知新聞社
RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ



高知の素晴らしい木材を全国へ
協同組合 **高知木材センター**

〒781-0112 高知県高知市仁井田新築 4517番地8
TEL:088-847-4411 FAX:088-847-4430
E-mail komoku@sound.ocn.ne.jp

行事予定

- 10月13日(水) 土佐材パートナー意見交換会・商談会、土佐材セミナー(大阪市ATC)
10月22日(土)・23日(日) 山西プロウッズスタイルフェア(愛知県名古屋市)
10月22日(土)・23日(日) もくもくエコランド森林環境学習フェア(高知市中央公園)
10月24日(月) 木材まつり素材の部(高知県林材)
10月27日(木) 全国木材産業振興大会(福島県)
10月28日(金)・29日(土) 川崎駅前優しい木のひろば(神奈川県川崎市)
10月29日(土)・30日(日) 高知のお城の音楽祭(オーテピア西敷地)
11月2日(水) 太洋木材土佐材祭り(香川県高松市)
11月5日(土)・6日(日) カネイ感謝祭土佐材祭り(山口県防府市)
11月9日(水)・10日(木) 非住宅木造建築フェア(大阪府インテックス大阪)
11月10日(木) 木材まつり製材品の部((協)高知木材センター)
11月17日(木) 高知都市木造WG(高知市)
11月21日(月)・22日(火) 保育博(東京都東京国際フォーラム)
11月24日(木) 素生協優良材展示即売会(高知県林材)
11月25日(金) 丸宇木材土佐材展(茨城県下妻市)

次世代へつなぐ ウッドファースト社会 を目指して

木を育て～木に親しみ～木を活かす



木のおもちゃで遊ぼう(とさこみち Moku の市)



一般社団法人 高知県木材協会

〒781-0801 高知市小倉町2番8号

☎ 088-883-6721

Fax 088-884-1697

✉ info@k-kenmoku.com

<https://k-kenmoku.com>

HP アドレスが「http」から「https」に変わりました